



令和4年度こどものまちづくりイベント ミニミニミドリ実施報告書

緑区区政推進課

目次

1. 子ども実行委員募集	-----	P2
2. 実施概要・実施実績	-----	P3
3. 子ども実行委員会記録		
第1回子ども実行委員会記録	資料：こどものまちって?-----	P4
第2回子ども実行委員会記録	資料：コンサルシート-----	P6
第3回子ども実行委員会記録	-----	P8
第4回子ども実行委員会記録	-----	P10
第5回子ども実行委員会記録	(準備活動) 資料：コンサルシート作成の例-----	P11
第6回子ども実行委員会記録	(準備活動)-----	P14
4. ミニミニミドリ地域の調整・広報活動	-----	P15
5. ミニミニミドリ制作物	-----	P17
6. ミニミド学校説明フリップ	-----	P19
7. 会場レイアウト図	-----	P20
8. ミニミニミドリ当日記録写真	-----	P22
9. ミニミニミドリ区長選挙	-----	P31
10.各店舗売り上げ	-----	P32
11.会場アンケート結果	-----	P33
12.こども実行委員会 報告会	-----	P49

1 実行委員募集



令和4年度
子どものまちづくりイベント

Mini Mini Midori

子ども実行委員を募集します

いっしょに
子どもだけのまち
をつくろう！

子ども実行委員会(企画)のようす

子ども実行委員会(企画)のようす

子ども実行委員会(お店の制作)のようす

イベント当日(まちの代価「子ども区長」をきめる選挙)のようす

イベント当日(お店)のようす

写真は
昨年度の
ものだよ！

応募方法

1. 応募資格
緑区在住または在学の小学校3年生以上19歳以下の子ども
※保護者などで参加できる子ども
(食糧までの保護者の送迎・付帯は可。
ただし応募が必要なお店には別途ご相談ください)
2. 募集人数
40人程度 ※申込み多数の場合は、抽選になる場合があります。
3. 募集期間
令和4年4月28日(木)から5月20日(金)まで
4. 参加費
無料 ※交通費などの実費は、各自負担
5. 応募方法
裏面を参照してください。

活動内容

1. 説明会
6月12日(日)午後1時から午後4時まで(予定)
2. 活動内容
(1) 活動期間(予定)
全体活動期間：令和4年6月から12月頃まで
(月1回程度の空席を考慮)
(月1回程度の空席を考慮)
イベント当日：令和4年11月12日(土)、11月13日(日)
(2) 子ども実行委員としての活動内容
・子どものまちの内容を考える(令和4年6月～)
・お店の準備(令和4年8月～)
・イベント当日はお店の店長等として活動
※新型コロナウイルス感染症の発生で、日程や内容が変更になる場合があります。また、会場がZoom形式になることがあります。

主催：緑区役所 区政推進課企画調整係 くわしくは、うらをごらんください！



【応募方法】
次のいずれかの方法によります。
(1) 二次元コードより電子申請で申込み →  申込み
(2) 応募用紙を使用して郵送、またはFAXで申込み

【申込・問合せ先】
〒226-0013 横浜市緑区寺山町118
緑区役所 区政推進課企画調整係
「子どものまちづくり」担当
電話：045-930-2228 FAX：045-930-2209
E-mail：md-kikaku@city.yokohama.jp

ふりがな 氏名 (子ども)		氏名 (保護者)	
郵便番号 (〒 -)	住所		
電話番号 (電話 - -)	学校名		
	学年 年齢	年生 歳	
E-mail	※なるべく資料等が受信できるメールアドレスをご記入ください。		
Zoom 利用の可否	自宅等でZoomの利用ができますか？(できないも事はできますが、会場等は区役所までお越しいただきます) <input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ		

【保護者の皆さまへ】

子どものまちづくりイベントについて

★本イベントは、ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」(子どものまち)の緑区版として実施します。
★「子どものまち」は、子どもたちの自由な発想でつくられる、子ども主体のまちであり、「大人口出し禁止」「19歳以下の子どものまち」です。

全体について

★新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク等予防策にご協力いただきます。また、子ども実行委員の活動及びイベントは、日程等を変更する場合があります。会議をZoom形式に変更する場合があります。
★子ども実行委員の決定のご連絡、会議をはじめとした今後の流れのご案内や各種資料の送付など、全てメールで行います。連絡のつきやすいメールアドレスをお願いします。
★大人スタッフは進行管理や相談、サポートを行います。基本的には子どもたちが自分の力で考え、頑張りを、解決することが大切と考えていますので、保護者の皆さまには温かく見守っていただければと思います。
★活動の様子は、区Webページ・広報誌等で紹介します。子ども実行委員の申込時には、お子様の写真、動画(YouTubeを含む)、お名前(ニックネーム)の使用許諾に対するご同意をいただけることが前提となります。また、実行委員決定後に写真等掲載承諾書をご提出いただけます。

子ども実行委員募集

応募資格：緑区在住及び在学の小学校3年生以上19才以下の子ども
募集期間：R 4年4月28日～5月20日まで
募集人員：40名程度

応募：80名 → 実行委員 41名 → 最終参加 35名

2 実施概要・実施実績

■名称 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori (ミニミニ ミドリ)

■開催日時

(準備日) 2022年11月11日 (金)

(本番日) 12日(土)12時~16時 13日(日)9時半~13時 計2回

■イベント実施会場 長津田地区センター (緑区長津田町2327)

■参加資格

①緑区在住または在学の小学1年生以上19歳以下。保護者の付添なしで参加できる方
各日200人 ※応募者多数により抽選で選出

②横浜市電子申請システムで申込み 申込期間:9月1日(木)~23日(金)

■参加費 1回あたり300円(1人1回のみの参加)

□会場を見学できる大人ツアーは、当選された方から希望者を募り、抽選。
(大人ツアー各日2回(一回あたり15人))

■準備期間

①運営ミーティング

4/20、5/24(兼場所下見)、7/11、9/1、10/4

実行委員会の前後にも打ち合わせを行った。

②子ども実行委員会(41名→35名に減少)

1回目6/12 13時~16時:緑区役所(説明会と実行委員会)

2回目7/26 13時~16時:緑区役所(実行委員会)

3回目8/9 13時~16時:長津田地区センター(会場下見&実行委員会)

4回目9/4 13時~16時:緑区役所(実行委員会)

5回目10/23 9時~16時:緑区役所(各店舗施設、時間を午前午後に分けて準備)

6回目10/30 9時~12時:緑区役所(各店舗施設、時間を午前午後に分けて準備)

③ボランティア説明会

6月4日 10時~11時 東洋英和女学院大学生向けボランティアオンライン説明会

11月9日 12時半~13時 東洋英和女学院大学生イベント直前オンライン説明会

■実施実績

□11月12日 実行委員35名 こども市民参加167名

□11月13日 実行委員34名 こども市民参加151名

大学生ボランティア11月11日 4名、11月12日 15名、11月13日 12名

■主催:横浜市緑区役所区政推進課

■サポート:NPO法人ミニシティ・プラス(受託者)

■運営協力:学校法人東洋英和女学院、一般社団法人フラットガーデン

■協力&協賛:村田製作所(ワークショップ提供)

横浜銀行中山支店(物品提供)

株式会社良品計画(MUJIcomビーンズ中山)(物品提供)

つたのは学園(制作協力、休憩場所提供)

長津田地区センター

緑警察書

2 実施概要・実施実績

■名称 子どものまちづくりイベント Mini Mini Midori (ミニミニ ミドリ)

■開催日時

(準備日) 2022年11月11日(金)

(本番日) 12日(土)12時~16時 13日(日)9時半~13時 計2回

■イベント実施会場 長津田地区センター(緑区長津田町2327)

■参加資格

①緑区在住または在学の小学1年生以上19歳以下。保護者の付添なしで参加できる方
各日200人 ※応募者多数により抽選で選出

②横浜市電子申請システムで申込み 申込期間:9月1日(木)~23日(金)

■参加費 1回あたり300円(1人1回のみの参加)

□会場を見学できる大人ツアーは、当選された方から希望者を募り、抽選。
(大人ツアー各日2回(一回あたり15人))

■準備期間

①運営ミーティング

4/20、5/24(兼場所下見)、7/11、9/1、10/4

実行委員会の前後にも打ち合わせを行った。

②子ども実行委員会(41名→35名に減少)

1回目6/12 13時~16時:緑区役所(説明会と実行委員会)

2回目7/26 13時~16時:緑区役所(実行委員会)

3回目8/9 13時~16時:長津田地区センター(会場下見&実行委員会)

4回目9/4 13時~16時:緑区役所(実行委員会)

5回目10/23 9時~16時:緑区役所(各店舗施設、時間を午前午後に分けて準備)

6回目10/30 9時~12時:緑区役所(各店舗施設、時間を午前午後に分けて準備)

③ボランティア説明会

6月4日 10時~11時 東洋英和大学生向けボランティアオンライン説明会

11月9日 12時半~13時 東洋英和大学生イベント直前オンライン説明会

■実施実績

□11月12日 実行委員35名 こども市民参加167名

□11月13日 実行委員34名 こども市民参加151名

大学生ボランティア11月11日 4名、11月12日 15名、11月13日 12名

■主催:横浜市緑区役所区政推進課

■サポート:NPO法人ミニシティ・プラス(受託者)

■運営協力:学校法人東洋英和女学院大学、一般社団法人フラットガーデン

■協力&協賛:村田製作所(ワークショップ提供)

横浜銀行中山支店(物品提供)

株式会社良品計画(MUJIcomビーンズ中山)(物品提供)

つたのは学園(制作協力、休憩場所提供)

長津田地区センター

緑警察書

3 子ども実行委員会記録:第1回こども実行委員会

■第1回こども実行委員会

日時: 6月12日(日) 13時から15時45分

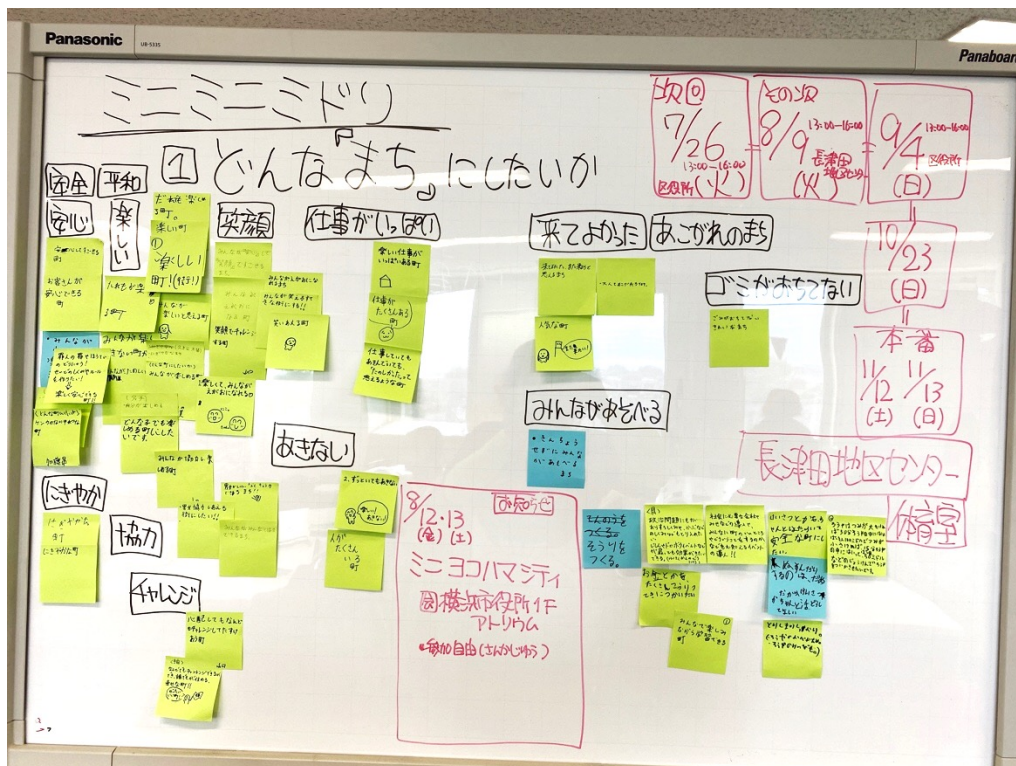
- 参加者 ○子ども実行委員: 37名 ○NPO法人ミニシティプラス: 5名
- 一般社団法人フラットガーデン: 4名 ○東洋英和女学院大学: 3名
- 緑区役所区政推進課: 2名

■内容

1. 緑区における子どものまちについて(緑区区政推進課より)
2. 大人スタッフ自己紹介
3. 「こどもまち」って何? 「子どものまちづくり」について(NPO法人ミニシティ・プラスより) 次のページに別途資料
4. 子ども実行委員自己紹介

名前と学年、ミニミニミドリでやりたいこと、またはどんなまちにしたいかについて考えている人は一言もプラスしていただきました。

5. ミニミニミドリの通貨(ミドル)について、デザインを変えるかどうか話し合い、新しいミドルを作成することになりました。
6. どんな「こどものまち」をつくりたいかを話し合いました。



7. 子どものまちに必要なもの・仕組みを考えました。

必要なものとして賛成の多かった意見は・・・

【公共の施設やお仕事】区役所、ジョブセンター、放送局、銀行、相談所(迷子センター、悩み相談)、警察、清掃局、病院、郵便、水道局など

【お店】書店、図書館、だがし屋、宝くじ、おみくじ、カジノ、記念グッズを売る店、ゲームセンター、アクセサリー屋、迷路

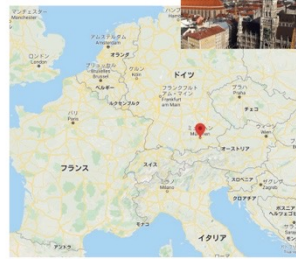
【その他の施設】公園、神社、会議場(広場)、休憩所

3 第1回での説明資料「こどものまち」って？



「こどものまち」
ってなんだろう？

ミニ・ミュンヘン ドイツのこどものまち



ミュンヘンで40年前にはじまったこどものまち「ミニ・ミュンヘン」は・・・

- ・夏休みの間の三週間、こどもたちの遊び場として、こどものまちがひらかれている
- ・こども市長の選挙がある。三週間の間にお金をためて家をたてるこどももいる



「ミニミニドリ」は

・2019年に横浜市緑区50周年記念イベントのひとつとして横浜市緑区で生まれたこどものまちです。

・こどもたちが自分たちで考え、自由につくるまちです。

・こどものまちの中では、みんなのためのおしごとをして、まちでつかえる「ミ\$（ミドル）」をもらいます。そのお金であそんだり、かいものしたり、できます。

・大人は「口出しきんし」ですが、こどもたちの活動をたすけます。

2020年現在、全国に約300のこどものまちがあることがわかりました。しかしコロナ禍で活動を休止しているところも多いです。

こどもたちが
まちのしくみを
かんがえます

区長をえらぶ
せんきょうが
あります

大人口出し禁止
のまち

こども会議では・・・

1. こどもたちでまちに必要なものはなにかを考えます。
2. 次にまちの中で、自分のやりたいことを考えます。
→お店やまちのためのおしごと、まちでのイベントなど
3. こどもたちで、話し合いながらまちづくりをすすめます。



こども会議のようす



ミニミニドリでは・・・

☆大人は、みなさんのやりたいことをささえる応援団です。先生ではありません。

- ☆困ったことがあったら、
- ①まずは自分で考え、
 - ②次に他のこども市民に相談し、
 - ③それでも困ったら、えんりよなく、大人に相談しましょう。

うまくいくこと、きちんとしたまちができること、が目的ではありません。

チャレンジして、失敗することも大事な体験です。

まちは作りつづけるもので、完成している状態はありません。みんなで力を合わせて、いいまちをつくりつづけてみましょう！

さて、みんなの考える「いいまち」「すてきなまち」ってどんなまちかな？



3 子ども実行委員会記録:第2回子ども実行委員会

■第2回子ども実行委員会

■日時：7月26日（火）13時から15時45分まで

■参加者 ○子ども実行委員：35名 ○NPO法人ミニシティプラス：6名
○一般社団法人フラットガーデン：2名 ○東洋英和女学院大学：2名
○緑区役所区政推進課：2名

■内容

1. 本日の大人スタッフ紹介
2. 実行委員のみなさんの自己紹介と、考えてきた「ミニミニミドリ」でやりたいことについて発表。また現段階で区長選挙立候補予定について聞きました。結果8名が立候補を表明しました。

3. まち全体についての話し合い

・まちのルール

まちにきたら、まず学校に行き、ルールを学んだあと、ジョブセンターでお仕事をもらい、公共施設やお店などで仕事をします。仕事が終わったら銀行にいき、ミ\$をもらう。そして買い物したり、遊んだり、また仕事をしたりします。

・公共施設での必要なものを出し合いました

警察、郵便局、放送局、神社、お掃除センター、港、不動産屋さん。

4. 各自、自分がやりたいテーマに分かれて話し合いました。

やることが決まったもの

【公共】ジョブセンター、銀行、相談所（案内所）、放送局、神さま（神社）、学校、おそうじキャスト

【お店】ざっかや、ゲームセンター、レジンづくり、プラ板、たからくじ、だがしやのみものや、カジノ、VRおにごっこ、おもちゃや、にがお絵やさん

各チームごとに、コンサルシートにお店の名前と担当者、内容について、検討しながら書いてもらいました。

5. 緑区区長、副区長が会議に参加し、意見交換をしました。

6. 各施設やお店ごとにどんなことが決まったかについて、発表しました。



ミニミニミニドリコンサルシート（相談シート） blank

2022ミニミニミニドリ コンサルシート

店名・施設名
なまえ（全員）

どんなお店？（なにを売るか、どんなサービスをするか、チケット何枚でできるか、現金か）

例) くじ引き1回（チケット1枚）、お客さんが来たらクジを引いてもらう。はずれはキャンディ2個

--

おみせやしせつのざいりょうにいるもの（商品[売るもの]として必要なもの）×数（単位）

ひつようなどうぐ（店・施設をつくるのに必要なもの）×数（単位）

アルバイトの仕事（最低5種類はかいてください。なん人可以るかも書いてください。）

問題点、わからないこと、困っていること、おとなにお願いしたいこと

--

3 子ども実行委員会記録: 第3回子ども実行委員会

■第3回子ども実行委員会

日時：8月9日（日）13時から16時

場所：長津田地区センター

- 参加者： ○子ども実行委員：23名 ONPO法人ミニシティプラス：3名
○一般社団法人フラットガーデン：4名 ○東洋英和女学院大学 8名
○緑区役所区政推進課 2名

■内容

1. コロナのため、会議室に入れる人数制限があり、3つに分かれての会議となった。
2. 公共は、それぞれの業務の流れを考え、必要なものを洗い出す、アルバイトの仕事を考える等を実施した。
3. お店については、各店舗ごとに、どのようなものやサービスを売るのか、について細かく考えた。1日お店に100人が来店すると想定し、どのくらいの材料や準備がいるのかについて考えた。
4. <下見> 会議の途中、部屋ごとに別れ当日使う会場の体育館の下見をした。

公共のグループ

それぞれの業務の流れを考え、必要なものを洗い出す、アルバイトの仕事を考える等を実施。まちの基本的なルールを決定した。

銀行

区民がはじめにもらうお金 50ミドル 税金の金額 20ミドル

アルバイト単価 20分40ミドル

初日にお店の軍資金として配布するお金

担当する運営市民の人数×50ミドル + 運営資金200ミドル（おつり）

税金は毎日売り上げの10%をその日の終わりに納める（売り上げの管理が必要）

公共の給料は 2日で1800ミドル

お金は5、10、50、100、1000の5種類の新紙幣を印刷する

前回からのお金の繰越について、通帳にある残高 100%の金額で引き出せる

通帳の入出金の際に押す印鑑が必要(作る)

みどりおそうじやさん

みどりんのお面をつけておそうじする。ほうき、ちりとりが欲しい。

ゴミ箱カートを移動してゴミ集め。そうじ道具、お面は消毒する

ジョブセンター

学校からの依頼で、仕事の場所がわからない子の案内をするバイトを作る

基本的なルール説明に加えて、なぞなぞをやる。なぞなぞカードの管理のアルバイトが発生する。



公共グループ

お店のグループ

VRおにごっこ→VRかくれんぼか？

田園調布学園大学卒業生の方にVRについてLINEで会議対応してもらった。

ちいさいこどもがVRゴーグルを使えないので、ちいさいこどもでもできるようなVRかくれんぼにしたらという話がでました。今後検討です。

カジノ

ポーカー、ブラックジャック、ルーレット、パチンコなどあらゆる賭け事をやる。

賭けるのはお菓子かチップを使って、ミドルに換金か。

だがしや

くじ引きと宝探しのあるだがしや。どんなものを販売するか

みどりゲームセンター

射的、お菓子釣り、くじ引き、エアホッケー、ガチャガチャ、わなげ、などたくさん催し物をやりたいので場所を2カ所か大きめに借りたい。

神じゃ！みどり教「極」

おさいせんばこにお金の願いをいれてもらい、その中から願いをかなえる。

いろいろな絵馬をつくってみようと思います。

ワークショップを行うお店のグループ

ミニミド工作展 (ものづくりやさん)

レジン、毛糸のポンポン、ブレスレット、などを体験し自分でつくってもらう。

ミニミニプラバン

アクセサリやキーホルダーなどをつくってもらう。

ざっかやさん

日常で使うものを売っている店。押し花のしおり、フォトフレーム、手作りコップ、本のカバーなど。



お店のグループ



ワークショップを行うお店のグループ

3 子ども実行委員会記録: 第4回こども実行委員会

■第4回こども実行委員会

日時：9月4日（日）13時から16時

場所：緑区役所

■参加者： ○子ども実行委員. 33名 ○NPO法人ミニシティプラス 4名
 ○一般社団法人フラットガーデン 4名 ○東洋英和女学院大学 8名
 ○緑区役所区政推進課 2名

■内容

1. 本日の大人スタッフ自己紹介
2. 緑区の企業を訪問して、ミニミニドリに協力いただくことについて報告。
 - ・横浜銀行から通帳400冊いただいた。
 - ・村田製作所からオルゴールづくりのワークショップ協力いただける
 - ・緑警察署からビブスなどを借りる。当日警察官に来てもらう。
 - ・東洋英和女学院大学が出す、竹を使った小物作りのワークショップの説明
3. それぞれの施設、お店に分かれて検討を行った。お店は試作品づくりなど。試作品を作り、本番に向けて必要なものを出し、大人スタッフに伝えた。
4. 前回お休みした人のお店の詳細について検討。

以下のお店が検討された。

おもちゃの神様、みどり警察、MNK放送局、ミニミニジャンボ、相談所

5. アルバイトポスターの作成（余裕のあるグループのみ）



3 子ども実行委員会記録: 第5回子ども実行委員会

■第5回子ども実行委員会（各自の施設やお店の準備）

日時：10月23日（日）9時から12時、13時～16時

場所：緑区役所

- 参加者： ○子ども実行委員、34名 ○NPO法人ミニシティプラス 7名
○一般社団法人フラットガーデン 2名 ○東洋英和女学院大学 5名
○緑区役所区政推進課 2名

■内容

各施設やお店の準備を行った。

午前中は主に公共施設、午後は主にお店と、午前午後に分かれて制作を行った。

大人スタッフは、コンサルシートなどを確認し、最終的に準備するものの確認を行った。



3. コンサルシート作成の例 1

ものの値段（ねだん）を考えよう

お店の名前	おもちゃのネ申オヤシ
担当（みんな書く）	[Redacted]

品物の名前	単位	値段	その他
例) クリスマスカード	1枚	10ミドル	3つ買うと安くなる
ゴムデッポウ	1つ	20ミドル	ポイントカードにポイント5ミドルがたまる。
古代のワケ	1つ	20ミドル	小ミドル
パックの車	1つ	15ミドル	ポイントカードにポイントが5ミドルがたまる。
お礼がのり紙	17	5ミドル	ポイントカードにポイント

アルバイトの仕事の内容

どんなしごと? ぐだいてきに書いてください。	何人	小さい子どもでも出来る?
お会計	2人	OK
商品をせりす	3人	OK
かためう	1人 または 2人	OK

記入日 9/4

記入者 [Redacted]

ミニミニドリ 予算管理シート

種類 (店名)	商品 (なにを売るか、どんなサービスをするか)	単価 (商品1コ、サービス1回のねだん)	販売目標数 (2日間で何コ売れるか)	売上目標 (ミドル) 単価×目標数	売上目標合計 (お店ぜんぶでいくら売れるか)	バイト人数
おもちゃの神様	ゴムデッポウ	20 30ミドル	15コ	300ミドル 450	1150ミドル	お会計 2人 売物を整理 3人 歓送 1人2人
	古代のワケ	20 30ミドル	20コ	400ミドル		
	パックの車	15ミドル	20コ	300ミドル		
	折り紙のしりとり	5ミドル	30コ	150ミドル		
メンバー名	材料	材料費予算 (円)	場所	広さ	機材	事前準備
[Redacted]	ダンボール					商品の製作 看板作り ポスター作り
	わりばし					
	輪ゴム					
	ガムテープ					
	ボンド					
	ペットボトルのふた					
	かんばん					

3. コンサルシート作成の例 2

ものの値段（ねだん）を考えよう

お店の名前	相談所～心の病院～
担当（みんな書く）	[Redacted]

品物の名前	単位	値段	その他
例) クリスマスカード	1枚	10ミドル	3つ買うと安くなる
なやみ相談	1回	10ミドル	

アルバイトの仕事の内容

どんなしごと？くたいてきに書いてください。	何人	小さい子どもでも出来る？
町案内 (歩き回らう)	2	できない (小3年生～)
受付	2	い 小3～
なやみ相談と 受付	2	い 小4～
まいに、落とし物を 放送局に伝える	1	できる 小1～
案内 (待合い室)	2	い 小2～

ミニミニドリ 予算管理シート

記入日

9/4

記入者

[Redacted]

種類 (店名)	商品 (なにを売るか、 どんなサービスをするか)	単価 (商品1コ、サー ビス1回のねだ ん)	販売目標数 (2日間で何コ売 れるか)	売上目標 (ミ\$) 単価×目標数	売上目標合計 (お店ぜんぶで いくら売れる か)	バイト人数
相 談 所	なやみ相談	10ミドル	150	1500		→4人
	町案内	0				→4人
	まいに、落とし物	0				→2人
メンバー名	材料	材料費予算 (円)	場所	広さ	機材	事前準備
[Redacted]	相談所に使う カート	(500円)				
	地図	430枚				
	落とし物のBOX	95枚				
	看板					
	チラシ	430枚				
	案内の人用のTシャツ					

3 子ども実行委員会記録:第6回子ども実行委員会

■第6回子ども実行委員会（各自の施設やお店の準備）

日時：10月30日（日）9時から12時

場所：緑区役所

- 参加者： ○子ども実行委員 16名 ONPO法人ミニシティプラス 3名
○一般社団法人フラットガーデン 3名 ○東洋英和女学院大学 1名
○緑区役所区政推進課 1名

■内容

各施設やお店の準備を行った。

準備の足りないチームのみ、準備を行った。

大人スタッフは、コンサルシートなどを確認し、最終的に準備するものの確認を行った。



4 ミニミニミドリ～地域の調整・広報活動

実行委員会の子どもたちから希望を募り、緑区役所と一般社団法人フラットガーデンが付き添う形で、ミニミニミドリへ協力してくださる、地域の調整、広報活動を行った。

横浜銀行（実行委員2名が同行）

：お小遣い帳等400冊ご提供

→ミニミニミドリでは銀行でミドルを貯金したり、引出したりすることに使わせてもらった。

村田製作所（実行委員2名が同行）

：子どものまちへの参加協力の承諾

→当日工作ブースを設けていただいた。

タウンニュース（実行委員1名が同行）

：イベント当日に取材の承諾

緑警察署（実行委員2名が同行）

：子どものまちへの参加協力の承諾

無印良品：使用済物品（商品棚）ご提供

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙

会社案内 | IR情報 | 事業3

2023年1月1日
販売開始

ホーム 横浜 川崎 相模原・東京多摩 県央

緑区版 掲載号：2022年10月20日号

子ども実行委員が訪問

記者から質問のコツ学ぶ
【教育】



ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」（子どものまち）を緑区版として令和元年度に初開催となった子どものまちづくりイベント「MiniMiniMido ri」。MiniMiniMido riは、19歳以下の子どもたちだけのまちで、大人は口出し禁止。子どもたちが自分の力で考え、解決することを大事にしている。

10月13日には、まちの仕組みを考える中心メンバーである子ども実行委員の1人・三谷菜矢さん（山下みどり台小5年）が、タウンニュース社を訪れた。昨年の同イベントに放送を担当するメンバーとして参加し「色々な情報が集まってきて楽しかった」と今年の参加を決めた三谷さん。タウンニュース社への訪問は、緑長津田公共放送局のメンバーとして臨むイベントに向け、当日の運営や参加者へインタビューする際のコツなどを学ぶことが目的だ。

三谷さんは本紙タウンニュース記者に対して「お仕事をする上で大切にしていることは何ですか」「大変だと思うことは何ですか」と質問。また、「楽しいまちなので取材に来てください」とイベントをPRした。

また、区の担当者によると、他の実行委員メンバーも各団体を訪問しているという。

今年は11月12日（土）・13日（日）の2日間、長津田地区センター（長津田町2327）で開催される。

4 ミニミニミドリ～地域の調整・広報活動

神奈川県全域・東京多摩地域の地域情報紙

マイナビニュース

会社案内 | IR情報 | 掲載

2022年12/3
高速道路の「4

ホーム

横浜

川崎

相模原・東京多摩

県央

緑区版

掲載号：2022年11月17日号



子どもだけの街を再現

ミニミニミドリ

〔社会〕

大人は口出し禁止。19歳以下の子どものみだけのまちづくりイベント「Mini Mini Midori」が11月12日と13日、長津田地区センターを会場に実施された。



JOBセンターには長蛇の列ができた

期間中、会場内には警察や銀行のほか、カジノや神社など

子どもたちが考えた街が再現された。参加者はまず「ミニミドリ学校」で街の仕組みを学び、「JOBセンター」で仕事を紹介されアルバイトを行った。アルバイトの時間ごとに街の中で使用できる仮想通貨「ミ\$」を稼ぐことができ、会場内の店で買い物やゲームなどができる。

「雑貨店」では、押し花のしおりや手作りメモ帳を販売。店長を務めた吉田陽奈さんは「まだ売れていないけど頑張る」と客の呼び込みを行っていた。「おもちゃの神様」では手裏剣や剣のほか、ゴム鉄砲などが販売されていた。

また、街の区長と副区長を決める選挙も実施された。選挙には三輪龍之介くん、丸山志揮くん、熊谷愛花さん、入佐真理子さん、石原菜帆さんの5人が立候補。それぞれが「困っている人がいたら全力で支援したい」「みんなが笑顔で溢れる街にする」「あいさつをして気持ちいい街を作る」などの選挙公約でアピールし、参加者は投票を行った。

会場内ではMNK（緑長津田公共放送局）の三谷茉矢さんが、各店舗の店長やアルバイトスタッフに対して仕事のやりがいやこだわっている点などをインタビューする場面もあった。



投票の様子



雑貨店で商品を紹介する吉田さん（左）と、みどりゲームセンター（右）



インタビューをする三谷さん（右）

5 ミニミニミドリ制作物

イベント案内のチラシ 表

2022年
11月12日(土) 受付: 11:45~12:45 開場: 12:00 終了: 16:00
11月13日(日) 受付: 9:15~10:15 開場: 9:30 終了: 13:00

場所 長津田地区センター (横浜市緑区長津田町 2327)
 長津田駅 (JR 東急) 南口から徒歩7分

参加資格 緑区在住・在学の小1年生~19歳以下の保護者の同伴なしで参加できる方

参加費 1日300円 **持ち物** マスク、飲み物、タオル、上着

参加方法 (事前申込制)
 募集人数 各日200人
 申込期間 9月1日(木)~23日(金)
 申込方法 緑区ウェブサイトまたは二次元コードより申込 **▲申込みはこちら**

当日の流れ

- 1 受付 (うけつけ) (参加費を払い、区民証をもらう)
- 2 学校でまちのルールを教えてもらう
- 3 ジョブセンターで仕事を使って働く (1つの仕事は20分間)
- 4 仕事が終わったら、銀行で給料として「ミドル(ミ\$)」をもらう
- 5 かせいだ「ミドル(ミ\$)」で遊んだり、買い物したり

主催: 緑区役所 区政推進課企画調整係 **くわしくは、うらをごらんください!**

イベント案内のチラシ 裏

2022 Mini Mini Midori について 申込する前に必ずお読みください!

申込に関する注意事項

- 申込方法は横浜市電子申請システムのみになります。
- 参加者ひとりごとに申込みが必要ですが、兄弟姉妹は一緒に申込み(グループでの申込み)ができます。ただし、個人の申込みとグループの申込みを重複して申込みすることはできません。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のためのお願い

- 当日は、マスクを着用し、アルコール消毒・検温にご協力ください。
- 会場内は飛沫拡散防止のため、換気を行います。温度調整のしやすい服装で参加してください。
- 会場内で食事をすることはできません(水分補給のみ可)。また、会場周辺での食事もご遠慮ください。

保護者のみなさまへ

- 本イベントは、ドイツのミュンヘンで行われている「ミニ・ミュンヘン」(子どものまち)の緑区版として実施します。
- 大人は口出し禁止で、子どもたちの自由な発想で作られた子ども主体のまちのため、運営がスムーズにいかないこともあります。困った時は大人スタッフもサポートしますが、基本的には子どもたちが自分の力で考え、解決していくことを大切にしています。
- 小学1年生以上、19歳以下の子どものみです。保護者は会場内に入場することができませんが、大人ツアーにお申込みいただいた場合は、会場内に入ることができます。(定員あり。申込み多数の場合は抽選) 大人ツアーの詳細は、当選者の保護者に別途お知らせします。
- 本イベントにお申込みの際にお預かりする個人情報は、イベントの運営以外の目的で使用することはありません。
- 後日、緑区ウェブサイトや広報等でイベントの様子を動画等で紹介します。そのため、本イベントへの申込みをもって、保護者の皆さまからお子さまのお写真、動画を使用(YouTubeを含む)させていただくことへご同意・承諾があったものとさせていただきますので予めご了承ください。

お知らせ・お願い

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントの中止や内容の変更等が生じる場合があります。その場合は緑区ウェブサイトでお知らせします。個別の連絡はいたしません。
- 当日午前8時の段階で「暴風警報」「大雨警報(土砂災害)」「特別警報」のいずれか1つでも発表継続中の場合はイベントを中止します。

【主催・お問合せ】
 緑区区政推進課企画調整係「子どものまちづくり」担当
 (電話: 045-930-2228 FAX: 045-930-2209
 E-mail: md-kikaku@city.yokohama.jp)

▲緑区ウェブサイト

ミドル紙幣

区民証12日

区民証13日

実行委員区民証 (2日間利用)

2022年

5 **5ミドル**

2022年

10 **10ミドル**

2022年

50 **50ミドル**

2022年

100 **100ミドル**

2022年

500 **500ミドル**

2022年11月12日

令和4年度 子どものまちづくりイベント
Mini Mini Midori
 ミニ ミニ ミドリ

くみん しょう
区民証

あなたをミニミニミドリの区民とします

学校 納税 投票
 がつこし のしめい としごよ

なまえ

2022年11月13日

令和4年度 子どものまちづくりイベント
Mini Mini Midori
 ミニ ミニ ミドリ

くみん しょう
区民証

あなたをミニミニミドリの区民とします

学校 納税 投票
 がつこし のしめい としごよ

なまえ

実行委員

令和4年度 子どものまちづくりイベント
Mini Mini Midori
 ミニ ミニ ミドリ

くみん しょう
区民証

あなたをミニミニミドリの区民とします

学校 納税 投票
 がつこし のしめい としごよ

なまえ



←子どものデザインを取り入れ、つたのは学園で作成し、ミニミニミドリで販売したノート2種

5 ミニミニミドリ制作物

まちの看板



6 ミニミド学校説明フリップ

担当の子どもの書いたイラストを入れ、パワポで作成。印刷をスケッチブックに貼って作成。

ミニミニミドリへ
ようこそ！



1

かせいだミドルで
お店でかいものをしたり
ゲームをしたりできます

ゲームセンター

だがしやさん

ざっかやさん

ミニミニプラバン

7



このまちは、
こどもたちがつくる
こどものためのまちです

みんなでたのしくすてきなまち
をつくりましょう！

おとなは、こどもたちをサポートします

2

どんどんはたらいて、
どんどんあそびに
いきましょう！！



8



このまちでは
ミドルという
お金をつかいます

3

ミニミニミドリには
区長をえらぶ「せんきょ」があります

1人2ひょう

区長と副区長をえらびましょう

くちょう ふくくちょう

9

アルバイトして
ミドルをかせぎましょう
ジョブセンターに行ってください

どんなおしごとを
したいですか？



アルバイトしたいです

ジョブセンター

4



どうひょうじょ

投票所に行って

どうひょう

投票しましょう

どうひょうは、
区民の権利です！

くみん けんり

10



20分のアルバイトで
40ミドルもらえます

*20分はたらずに、お店を出るとけいさつにつかまります

5

ルール

- ・まちの中は走ってはいけません
- ・こまったことがあったら
相談所または学校に行きましょう

11

20分はたらいたら
ぎんこうに行って
40ミドルをもらいましょう

おつかれさまです
40ミドルです



おしごとおわりました

ぎんこう

6

ミニミニミドリをよくするために
20ミドルをぜいきんとして
おさめてください

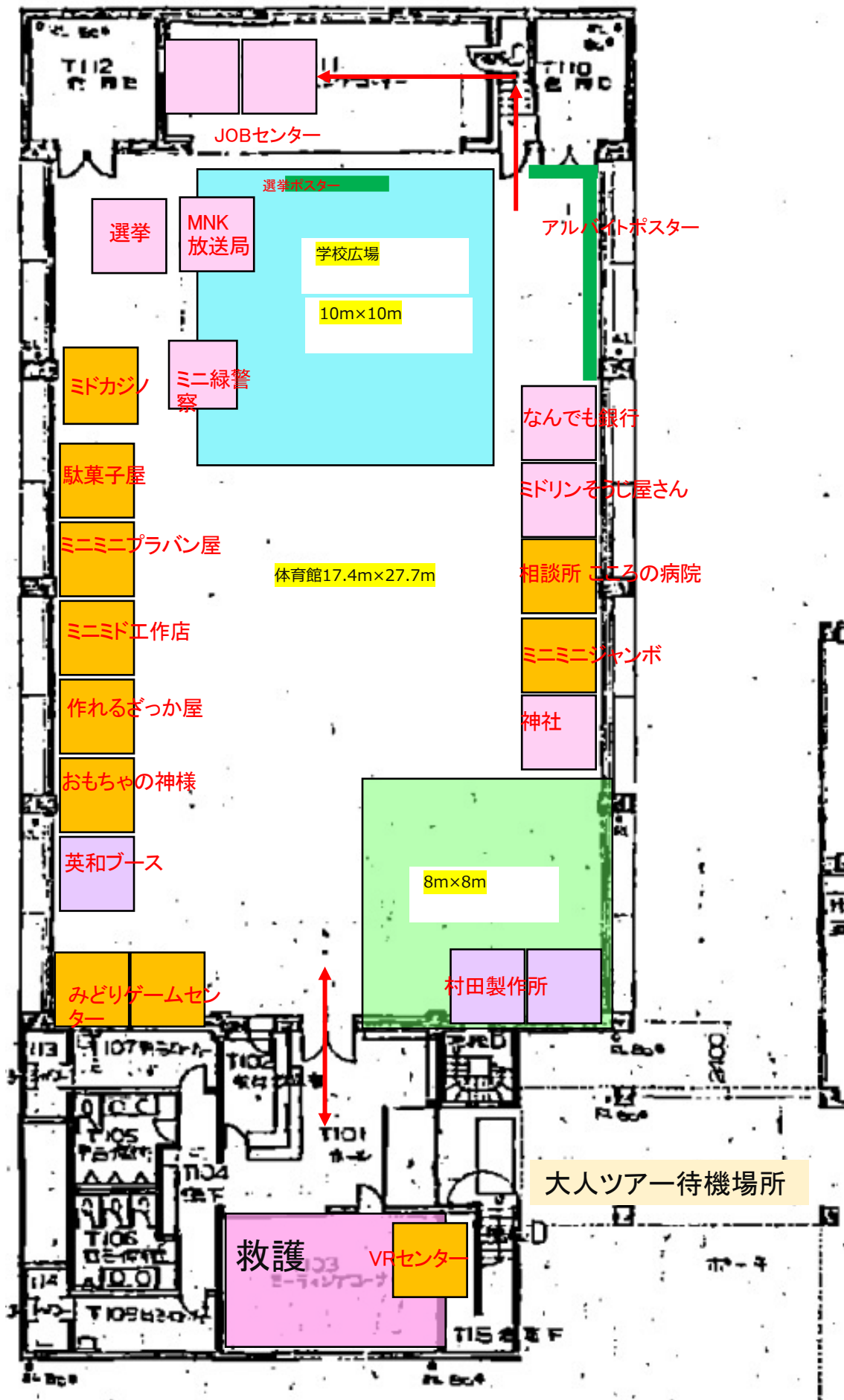
12

それでは
いってらっしゃい！



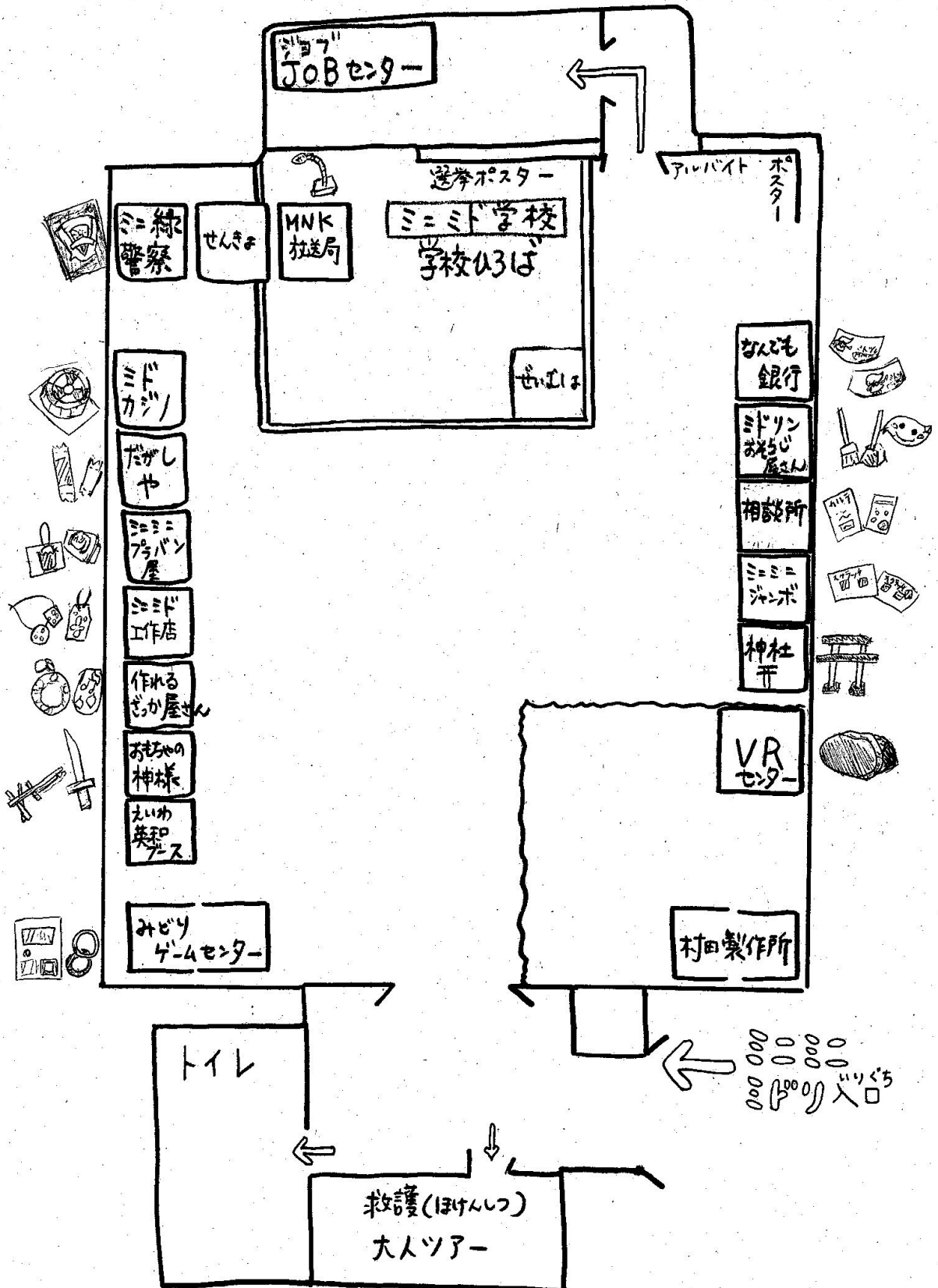
13

7 会場レイアウト図



7 会場レイアウト図(手書き)

相談所で配布した。途中で警察とVRセンターの場所が変わった。
警察は目立たない場所だったので、カジノの前に、VRセンターは
Wi-Fiの電波が悪く、大人ツアー待機場所に移動した。



8 ミニミニドリ当日記録写真

受付



↓
ミニミニ会場に入るときに
参加費300円を支払う。

学校



↓
学校でまちのルールを学ぶ。



↓
名簿で確認し、区民証をもらう。



↓
学校でまちのルールを学ぶ。



↓
区民証に名前を書いてもらう。

銀行兼税務署



↓
学校が終わったら税金をおさめて、区民となる。JOBセンターでお仕事をもらい、働く。稼いだお金で買い物したり遊んだりする。

8 ミニミニドリ当日記録写真

JOBセンター



お仕事募集ポスターをみて
仕事を選ぶ。



お仕事ポスター



JOBセンターでお仕事のタグを受け取る。



なんでも銀行

仕事が終わったら銀行でお給料をもらう。



ジョブセンターのようす



銀行は大忙し。

8 ミニミニドリ当日記録写真

三二緑警察



本物の警察官と一緒にまちを守る。



警察手帳販売。売り上げは全額税金として納付。

ミドリんおそうじ屋さん



まちなかをきれいにす
るお掃除やさんは、今
回ミドリんのサインの
ついた帽子をかぶり、
お掃除を行った。

汚れている机の上を吹
いたり、ホウキをもっ
てまちなかを回遊。

MNK放送局



緑長津田公共放送局、略して**MNK**。
選挙演説会、お店の宣伝、落とし物など、
まちの中のニュースを放送。

8 ミニミニドリ当日記録写真

作れるざっか屋さん



自分でつくることも、作ってある作品を買うこともできる。
押し花のしおり、フォトフレーム、本のカバー

ミニミニプラバン屋



プラ板を自分で作ったり、作品を売ったり。

ミニミド工作店



レジン、ボンボン、プレスレットなどを販売。

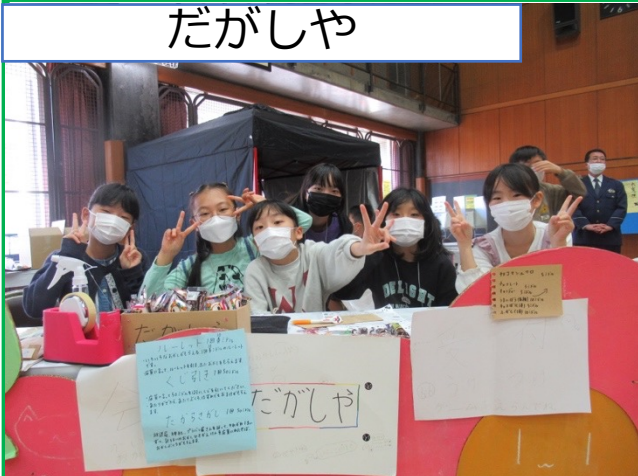
8 ミニミニドリ当日記録写真

おもちゃの神様



ぱっくんちょ、しゅりけん、剣、ゴム鉄砲などを売るお店。

だかしゃ



駄菓子を販売。まちなかのいろいろな場所にくじの入った宝箱をおき、はずれなしで駄菓子をプレゼント。

ミニミニジャンボ



宝くじの販売と、丸シールを貼ったスクラッチを販売。

8 ミニミニドリ当日記録写真

ミドカジノ



トランプゲームや手作りルーレットで賭け事。警察の裏にカジノがある。

みどりゲームセンター



ゲームセンターはいつも子どもたちで満員。



↑紙コップを倒す射的



スリッパ卓球のようなもの



お菓子だけでなくシールなども釣れる。

8 ミニミニドリ当日記録写真

神社 緑教「極」



みんなの願いを絵馬に書いてもらってお賽銭をいれてもらう。
15分に1回、選ばれた願いをオーナーが叶える（祈る）。



相談所～心の病院



無料で相談を受ける。シートに悩みを書き、話をきいてあげる。
最後にお守り的なビーズを袋に入れて処方する。



VRセンター



小学校4年生以上がVRゲームを体験するコーナー。
田園調布学園大学の番匠研究室に協力いただいた。小学3年生以下はi-PadでAR体験。



8 ミニミニドリ当日記録写真

村田製作所



電子オルゴールをつくるワークショップを
緑区に拠点のある村田製作所にご提供いただいた。

東洋英和ブース



大学内で伐採された竹を使ったアクセサリーをつくる。
できた作品を販売したりと盛りだくさんなワークショップ。

臨時：イベント企画・デザインセンター



仕事が足りなくなってしまったとき、イベント企画という仕事をつくり、なにをやるかを一緒に考え「紙飛行機飛ばし大会」や「じゃんけん大会」などをおこなった。

8 ミニミニドリ当日記録写真

ミニヨコ副市長との対談



横浜市都筑区を中心に行われている「ミニヨコハマシティ」の副市長がミニミニドリを訪問。広場でトークイベントを行った。ミニヨコにはどんなお店がありますか？などミニミニドリの子どもたちから質問があり、「研究所」や「株式投資の会社」「映画館」などがあつた、など話された。

大人ツアー



ミニミニドリは大人口出し禁止ではあるが、大人の理解なしには開催できないことから、多くのこどものまちでも行われている、こどものまちの大人ツアーを行った。

大人ツアーではバツェンのついた口出し禁止マスクをつけてもらった。1回のツアーは15名限定。

9 ミニミニドリ区長選挙

投票所



投票所には、本物の選挙で使われる投票箱、記載台を使用。

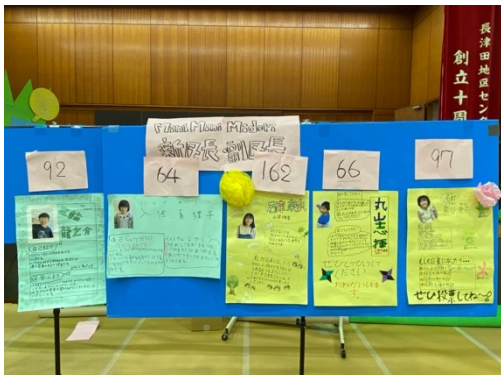
演説会



開票作業



所信表明演説



区長選挙には5名が立候補し、それぞれが個性あるポスターを作成し、有権者にPRした。

選挙演説会は2回行われた。

区民は1人2票別の人に入れるというルール。

区長と副区長が選ばれた。

区長：石原菜帆さん（小学5年生）162票

副区長：熊谷愛花さん（小学6年生）97票

・総投票数：481（1人2票）投票率 76.4%

10 各店舗売り上げ

各店舗売り上げかんり表は、忙しくて書けなかったり、提出されないところがあった。

順位	店名	12日	13日	合計	納税額
	おもちゃの神様	2070ミ\$	1500ミ\$	3570ミ\$	357ミ\$
2	ミニミド工作店	4260ミ\$	2710ミ\$	6970ミ\$	697ミ\$
	ミニミニジャンボ	3395ミ\$	925ミ\$	4320ミ\$	432ミ\$
1	みどりゲームセンター	3820ミ\$	4905ミ\$	8725ミ\$	873ミ\$
3	作れるざっかやさん	2100ミ\$	4050ミ\$	6150ミ\$	615ミ\$
	だがしや	2315ミ\$	不明	不明	230ミ\$のみ
	英和ブース	800ミ\$	1990ミ\$	2790ミ\$	279ミ\$
	ミニミニプラバン屋	不明	不明	不明	
	ミドカジノ	225ミ\$	不明	不明	22ミ\$のみ
	VRセンター	不明	不明	不明	
	警察 (手帳売り上げ寄付)				600ミ\$

売りあげかんり表 11月13日 ぶん
おみせの名前 みどりゲームセンター

商品の名まえ ゲームなどの種類	かんた数字だけ 正の字を書く	売あげた 枚数	1/1回 いくら	かんた 金額	税務署 チェック
1 わなげ	正正正正正正	30	20	600	
2 ガチャ	正正正正正正	80	10	800	
3 レジキ	正正正正正正	79	15	1185	
4 おかしり	正正正正正正	95	20	1900	
5 ホック	正正正正正正	28	15	420	
6		600	1185	1400	4905
7		+800	+1900	+3085	+3800
8		71400+3085=4485		8705	
9		4485			
10		÷10%			

合計金額 4905
10%税金です。 490.5

税務署に納入めます。
税務署 チェック

売りあげかんり表 11月13日 ぶん
おみせの名前 ミニミド工作店

商品の名まえ ゲームなどの種類	かんた数字だけ 正の字を書く	売あげた 枚数	1/1回 いくら	かんた 金額	税務署 チェック
1 レジン	正正正正正正		50	450	
2 レジン	正正正正正正		30	660	
3 レジン	正正		100	800	
4 プレスレット	正		40	200	
5 ハンガデコ	正正		60	420	
6 ホンポン	正正正正正正		10	180	
7					
8					
9					
10					

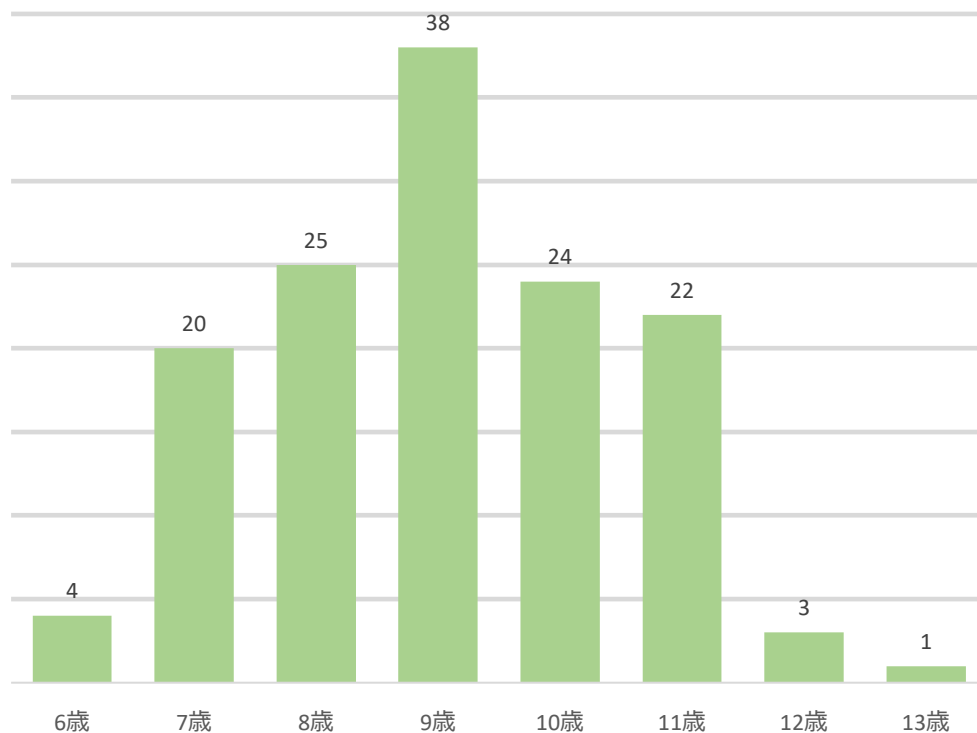
合計金額 2710
10%税金です。 270

税務署に納入めます。
税務署 チェック

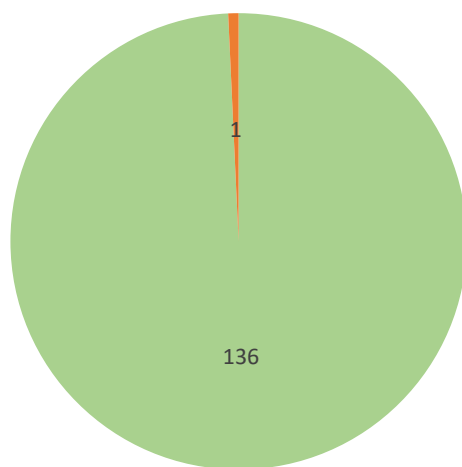
11 アンケート集計

■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

1. あなたは何歳ですか？



2. 来年もミニミニドリリに参加したいですか。



99.3%「参加したい」

■ 参加したい ■ 無回答

11 アンケート集計

■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

2. またその理由も教えてください。（自由回答）

これが楽しかったから

- 面白い仕事がいっぱいある
- 働くこと・仕事体験
- お会計・接客・準備
- お金でおもちゃとかを買える
- いろいろなものが買えたこと
- 遊ぶこと
- ゲームセンターなどで遊べた
- お菓子がもらえる
- いろいろなものが作れた
- VR
- プラバン
- 大人がいないところ
- 子どもたちだけのまち
- 運営側をすること
- みんなで活動すること

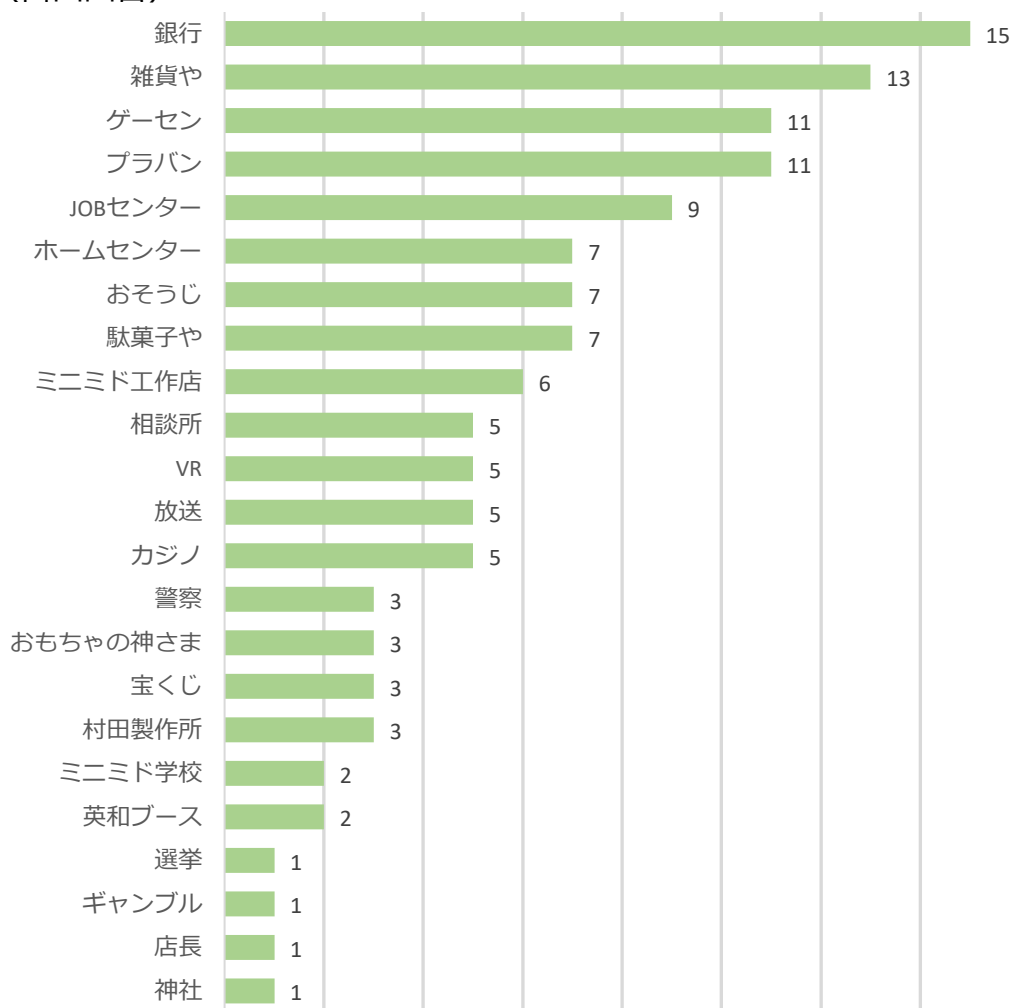
その他

- またやりたい仕事があるから
- 将来お店やさんになったとき生かせるから
- いろいろな人と仲良くできるから
- 社会の勉強になるから（納税など）
- こういうこどものまちはなかなかないから
- いろいろなイベントがたくさんあるから
- 大人と同じような生活を経験してみたいから
- 仕事としてお金をもらえるから
- 子どもだけでまちを作りたいから
- とってもいい思い出になったから
- 友達と一緒に遠くに行くことがない
- やったことがない仕事を体験できるから
- 将来のことも考えられるから

11 アンケート集計

■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

3. 面白かったお仕事を教えてください。またその理由も教えてください。
（自由回答）



楽しかったから

たとえば・・・

- おかしをラッピングし売ること
- ミドルを切ること
- ミドルをもらうときのお客との会話
- チョークで書くこと
- 新聞紙やバッグで色々作ること
- プラバンを作ること
- 絵を描くこと
- ペタペタシールを貼ること
- いろんな人に放送すること
- 竹をきれいにすること
- 周りの人と話げできた
- 相談してきた人の解決と薬選び
- 看板を持って歩くこと
- 受付すること
- 相談すること
- あそぶ仕事
- 両替
- JOBセンターが1番
- ミドルを整理すること
- ポンポンを作ること
- 掃除してきれいにすること
- 受付したこと

11 アンケート集計

■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

3. またその理由も教えてください。

ほかには・・・

- お金の意味も知れるから
- ありがとうと言われるから
- ごみを拾うのが好きだから
- いろいろな人の相談を受けれて面白い
- こういふことができるのかと
- いろんなところをパトロールした
- いろいろな人が来て友達になれた
- かわいいビーズがもらえたから
- 色んなところを掃除したから
- おすすめして喜んでもらえた時の充実感
- 大きな声でいらっしやいませって言って振り向いてくれた
- 自分が作ったものを買ってもらえるから
- いろいろな希望を与えてくれるからいろいろな人と関われる
- お金を配ったり、両替することが楽しい
- 警察のベストを着れたから
- 楽しく放送できたから
- ゲームが好きだから
- 発想がすごかったから
- かわいいビーズがもらえたから
- 学校でも放送委員をしている
- ゴミ集めが楽しい

4. 来年も、ミニミニミドリが開催されるとしたら「こんなお仕事があったらいいな」と思うアイデアを教えてください。（自由回答）

- キーホルダー
- アクセサリー・宝石
- 勉強教室・塾
- 建築・おうち屋さん
- プログラミングでゲーム作り
- お花屋さん
- お化けやしき・水族館
- おもちゃ
- 文房具・消しゴムや
- イラストを描く・漫画家
- 紙芝居
- レーサー
- ニュース
- 図書館や本屋さん
- 駅・空港の仕事・ドローン操縦
- 玉入れ・的あてゲーム・クレーンキャッチャ
- ボッチャ・ホッケー・サッカーなどスポーツ
- たべものや・スイーツ
- スーパーマーケット
- ハーバリウム・石鹸
- 消防士・お医者さん
- スーパーボール・金魚すくい
- 洋服・人形
- なりたいなり方
- 小さい子も来れるように保育園
- 列ができるお店は並ばせる仕事
- 時計を持っていま何時か言う
- お手伝い・レスキュー隊

11 アンケート集計

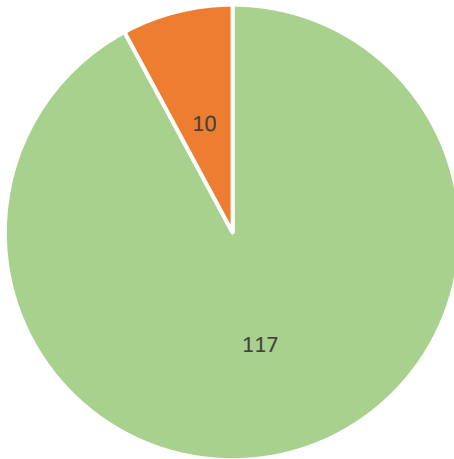
■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

5. 将来、みんなが住むまちをよりよくするための活動をしたいですか。
またその理由を教えてください。（理由のみ自由回答）

92.1%「活動したい」

7.9%「活動したくない」

無回答：10人



■ 活動したい ■ 活動したくない

活動したくない理由

- むずかしいから
- めんどくさいから
- すこし怖いから
- したくないわけではないけど、他の楽しい仕事もあるから
- 自由になりたい
- 大変だから

活動したい理由

- みんなにこのまちを好きになってほしいから
- 活動するともっとまちがよくなるかもしれないから
- 自分のまちがきれいになるから
- 誰かの役に立ちたいから
- 自分もみんなも笑顔になれるから
- おもしろいから
- これをやってみて僕はなかなか才能があると思ったから
- みんなが楽しく暮らしてほしいから
- 育ったまちに感謝したいから
- 自分の力で社会が成り立つと思うと面白いから
- よりよくすれば働きやすくなる
- まちが平和になるから
- みんなが住みよいまちがいいから
- 楽しそうだったから
- 困っている人を助けたい
- ポイ捨て・ゴミを減らしたい
- SDGsなどやれることが自分にあるから
- よりよくなって感謝されるのが嬉しい
- また工作したいから
- みんなが快適に過ごしてほしいから
- このまちが良くなると楽しくなるから
- 自分が良いことをやる
- まちが良くなればみんなも住みやすく
- みんなのために行動できることが素晴らしい
- みんなが過ごしやすいと環境が良くなるから

11 アンケート集計

■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

6. 将来の夢や、あこがれるお仕事があれば教えてください。（自由回答）

- | | | |
|----------------|------------|-------------|
| • 漫画家 | • デザイナー | • 花屋 |
| • パティシエ | • 電車の運転士 | • シェフ |
| • 医者 | • ゲームを作る人 | • 薬剤師 |
| • パイロット | • 保育士 | • 爬虫類ハンター |
| • 漁師 | • 美容師 | • スーパーの人 |
| • 社長 | • 公務員 | • Youtuber |
| • 大金持ち | • サッカー選手 | • カウンセラー |
| • 研究者 | • モデル・アイドル | • 鉄道の運転士 |
| • 歯医者 | • 看護師 | • ゲームセンター |
| • 銀行員 | • JAXA | • 野球選手 |
| • 水族館の人 | • 水族館の飼育員 | • カフェ |
| • 学校の先生 | • サッカー選手 | • 声優 |
| • 客室乗務員 | • 電気とかの仕事 | • こども用の本を作る |
| • 長津田林保存会 | • バスの運転士 | • 宇宙飛行士 |
| • 看護師 | • ガチャガチャ | • パン屋さん |
| • 美容師 | • アニメーター | • イラストレーター |
| • 人体に関する研究 | • 空を飛ぶ | • 天文学者 |
| • パトロールカー運転士 | • 学校の先生 | • ゲームや |
| • 絵の監視をすること | • 小説家 | • ニュース |
| • スポーツカーを作る | • 獣医 | • 駄菓子屋 |
| • メイクアップアーティスト | | • 警察官 |
| • 恐竜・ロボット博士 | | |

7. ミニミニミドリへのお願いがあれば、教えてください。（自由回答）

- | |
|-------------------------------|
| • 給料をよくしてほしい |
| • ずっと続けてください・続いてほしい |
| • この多様性が認められるMMMを続けてほしい |
| • もっとお店があるといい |
| • 1ミドルも追加してほしい |
| • 飾りつけしてほしい |
| • もっとお店の中の遊び、仕事を増やすとよい |
| • 物の値段を安くしてほしい |
| • 電子マネー、カードがあるといいかも |
| • もっと楽しかったらたくさん人がくるかな |
| • おかしももっとちょうだい |
| • お店を大きくしてほしい |
| • みんなのたのしいあそび |
| • 抽選の厳しさを優しく・もっと多くの人に参加できるように |

11 アンケート集計

■1日目こども（91人）2日目こども（46人）合算集計

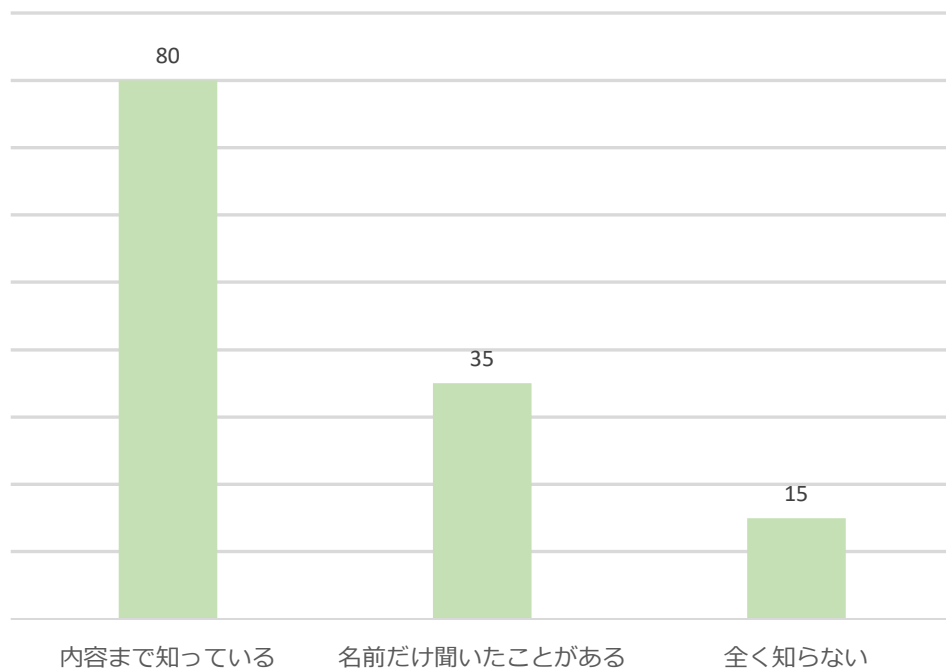
8. あなたはSDGs（持続可能な開発目標）についてどのくらい知っていますか。

61.5% 「内容まで知っている」

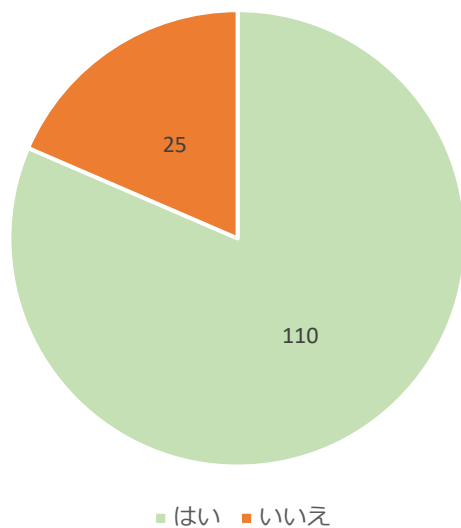
26.9% 「名前だけ聞いたことがある」

11.6% 「まったく知らない」

無回答：7人



9. 区役所でSDGsを勉強できるイベントがあったら、参加したいですか。



81.5% 「はい」

18.5% 「いいえ」

無回答：2人

11 アンケート集計

■ 2日間のこどもアンケートを通しての考察

当アンケート調査は6歳から13歳のミニミニミドリ市民137人に対して街頭調査方式で行われた。

● 項目2「来年もミニミニミドリに参加したいですか。またその理由も教えてください。」という問いに対して「はい」が100%であった。今回のミニミニミドリにおいて市民の満足度は無回答を除けば100%であると言えるだろう。

● 項目3「面白かった仕事を教えてください。またその理由も教えてください。」という問いでは、銀行、雑貨や、ゲームセンターなどが1日目・2日目を通して票を集めた。2日目はホームセンター（アンケート実施や受付、飾りつけ）、相談所、VRセンターがぐんと票を伸ばした。

● また、項目2・3の理由では、こども市民の「楽しかった」「面白かった」という言葉が非常に多く見受けられた。その気持ちは、働いてお金を稼ぐ楽しさや、自分の働きが相手に良い影響を及ぼしたことへの喜び、及び自己有用感から生まれていると推察する。また、特定の作業や遊びに楽しさや面白さを見出している市民も多く、彼らの「得意」や「好き」を見つけることができる、さまざまな仕事や店があったことがわかった。

● 項目4「来年も、ミニミニミドリが開催されるとしたら『こんなお仕事があったらいいな』と思うアイデアを教えてください。」と、項目7「ミニミニミドリへの願いがあれば、教えてください。」からは、市民たちの貪欲な「次はこれがやりたい」という意見を集める質問となった。彼らの熱意が伝わってき、来年も市民への応募が集中するのではないかと感じる。また、「お手伝い・レスキュー隊」「小さい子も来れるように保育園」「列ができるお店で並ばせる仕事」があるとよいと答える市民もいた。まち全体を見て、足りないものを見つけることができる市民が育っていることに驚かされる。ミニミニミドリの現状継続や活動規模・頻度の拡大の希望もあった。

● 項目5の「将来、みんなが住むまちをよりよくするための活動をしたいですか。」に「はい」と90%以上の市民が答えた。その理由は多岐にわたるが、自分から働きかけると「まち」「社会」は変わるという意識の芽生えが、多くの市民に共通して見受けられる。また「誰かの役にたちたい」「みんなのために」といった言葉も多用されている。ミニミニミドリに参加したことで、自然と他者のために働き、他者のために働くことの楽しさを見つけ、自己有用感や自己肯定感を高めた可能性がある。

● 項目8「あなたはSDGs（持続可能な目標）についてどのくらい知っていますか。」では、6割強が「内容まで知っている」、3割が「名前だけ聞いたことがある」1割強が「全く知らない」と答えた。

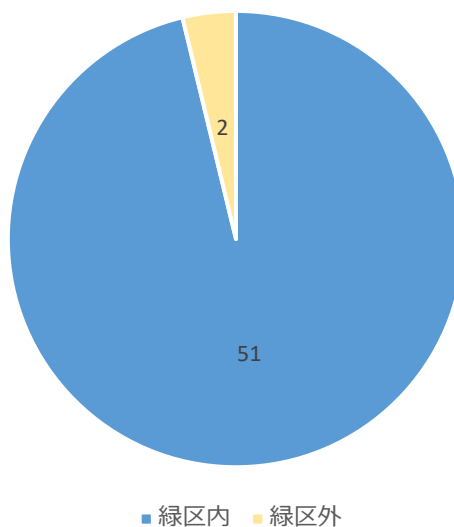
● 項目9「区役所でSDGsを勉強できるイベントがあったら、参加したいですか」という問いに対しては8割超が「はい」と答えた。

11 アンケート集計

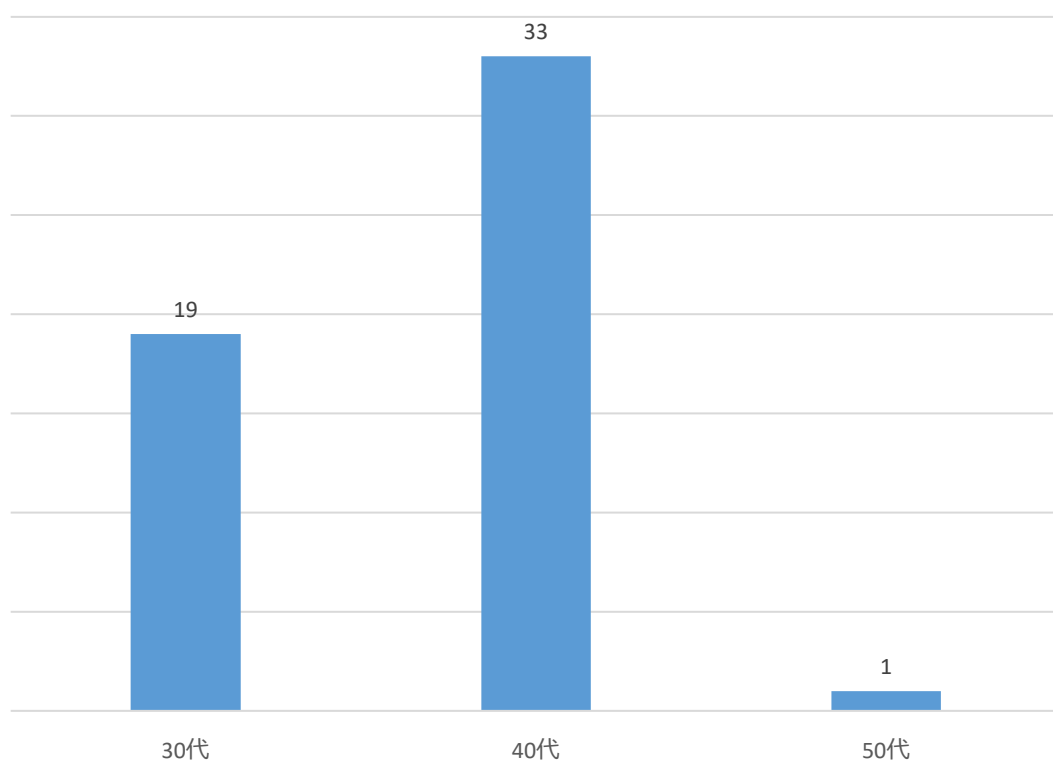
■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

1. あなたのお住まいはどちらですか。当てはまるものに○をつけてください。

「緑区内」 96.2%
「緑区外」 3.8%



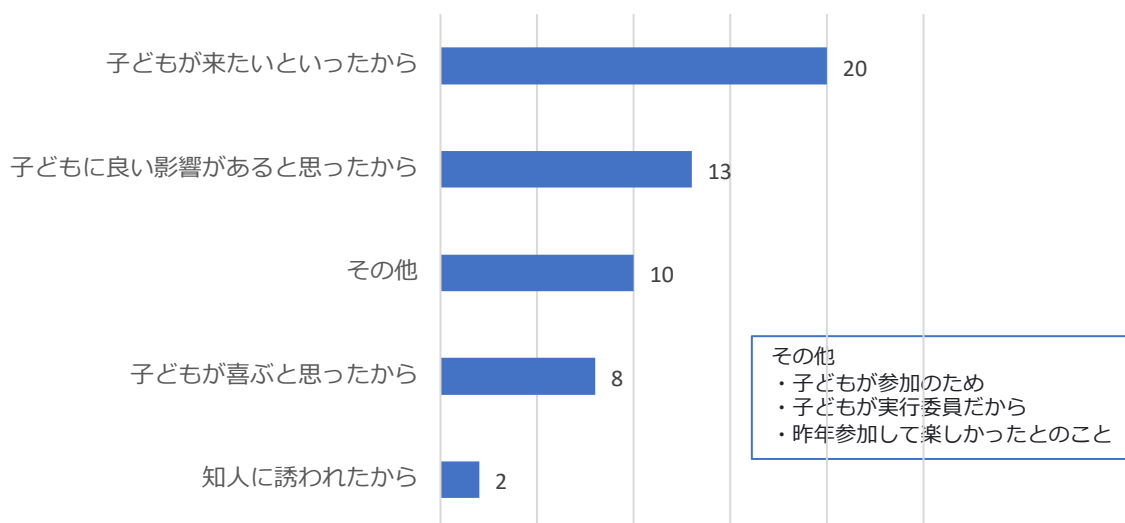
2. あなたの年齢について、当てはまるものに○をつけてください。



11 アンケート集計

■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

3. ミニミニミドリに参加したいと思った理由を教えてください。



4. ミニミニミドリについて、良かった点を教えてください。(自由回答)

1日目

- ・ こどもたちが主体で計画し実行・運営しているところ
- ・ アルバイトができ、ミドルが稼げるのがよかった
- ・ こどもが参加できる良い機会だった
- ・ こどもだけで行っているところ
- ・ コロナで体験できなかったことをいろいろすることができた
- ・ こどもたちが自分で工夫している点
- ・ こどもだけで仕事体験ができること
- ・ こどもの視点でブースを考えていること
- ・ 税務署まであるのは驚いた。社会の仕組みがわかってとても良い
- ・ こども主体、大人は補助のみの雰囲気がとても楽しそうだった
- ・ こどもたちが自主的に動いていて素敵だと思った。カジノも！
- ・ こどもたちが楽しそうに笑顔で過ごしていた
- ・ 親がいない点
- ・ 自分で何かを企画し実行する経験ができた
- ・ こどもたちの実行委員が企画に参加している
- ・ 知らない人と交流ができる
- ・ いろいろな学年の子と関わった
- ・ ものづくりの勉強になった
- ・ こどもたちが自分で考えて活動できる環境や働くことや選挙について考えるきっかけになった
- ・ こどもたちの表情は生き生きとしていた
- ・ こどもたちの自主性を大事にしている

11 アンケート集計

■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

4. ミニミニミドリについて、良かった点を教えてください。(自由回答)

2日目

- こどもたちが主体的に行動できる場になっている
- こどもたちがまちづくりを知るきっかけになった
- 実際の社会の仕組みに近く、こどもたちが遊びながら学んでいたこと
- こどもたちが考えたことを実現しようとフォローしてくれるところ
- こどもが一人で回れるか心配だったが、とても楽しそうにお仕事していたこと
- こどもが生き生きと活動に参加している
- こどもが自立するきっかけになった気がする
- 体験を通じて社会の仕組みに興味を持ってくれると思う
- こどもたちだけで考えること、動くこと、協力すること、積極的になれること
- こどもたちが楽しそうに自主的にいろいろしていた
- 仕事の仕組みがわかる
- 社会の仕組みが簡単だけときちんと考えられるから、こどもたちもなんとなく理解できそう
- 一つの空間の中で社会が出来上がっているしうまく回っている
- 当日参加しても無理なく理解し楽しめている
- 自分たちでお店づくりから考えるなど本格的だった
- 大人は口出しせず、こどもたち中心でやっている
- スタッフさんが準備からしっかりやってくれた
- こどもだけでやっていてすごかった
- こどもたちの企画力、発想力がよかった
- こどもたちだけで学んだり、遊んだりできる
- まちの仕組みを学ぶことができる
- まちの仕組みがリアルでこどもたちが自分で全てやっているところ

5. ミニミニミドリについて、改善点があれば教えてください。(自由回答)

1日目

- 1人参加、初参加、低学年の子には難しいため(どこでなにができるのか分かりづらい) 付き添って仕組みを教える仕事があってもよい
- コロナが落ち着いたら食べ物屋さんも復活してほしい
- 場所的に送り迎えの必要があるため、自転車置き場や大人ツアー後の大人の待機場所があれば助かる
- 大人ツアーで案内の方の話をほとんど聞き取れなかった点
- 低学年が楽しめる工夫(低学年は友人と申し込めるなど)があるとよい
- 何をしているのか分かりづらかった(初めて参加しました)
- 連絡はメールなどで統一してほしい
- 大人ツアーは5人くらいずつの人数で、子どもガイドのお仕事として案内してもらった方が楽しそうだと思う
- 仕事のところと買ったり遊べるところが分かりづらいので、左右で分かれていたりするとよいと思う

11 アンケート集計

■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

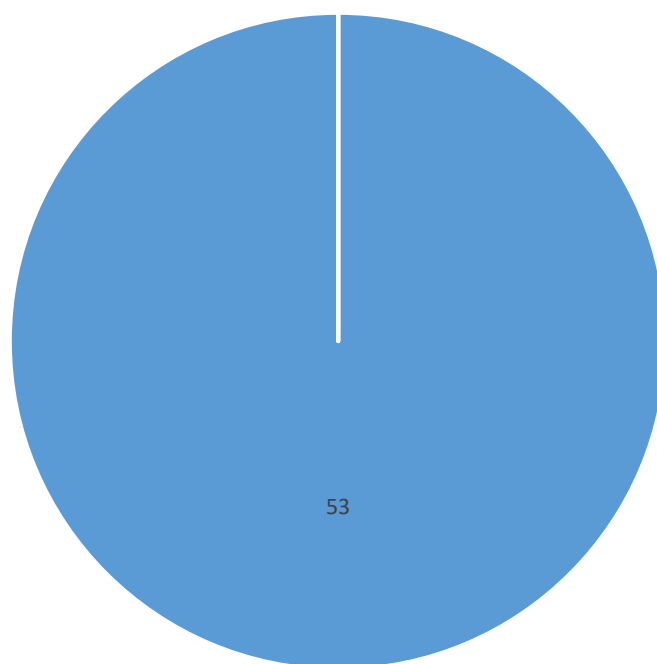
5. ミニミニドリについて、改善点があれば教えてください。(自由回答)

2日目

- 音楽があってもいいかなと思った
- コロナ禍で制限が多すぎて大変そう
- 友達と申し込みしていたら一緒にできるかできないかがよい
- 抽選なので来れない場合があるので日数が多いと良い
- 大人ツアーはこどもの様子を自由に見学する時間もほしかった
- 親が見学できる機会があると良い

6. 来年もミニミニドリを実施してほしいと思いますか？

「実施してほしい」 100.0%



「どちらでもない」 「実施してほしくない」 0.0%

11 アンケート集計

■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

6でその選択をした理由(自由回答)

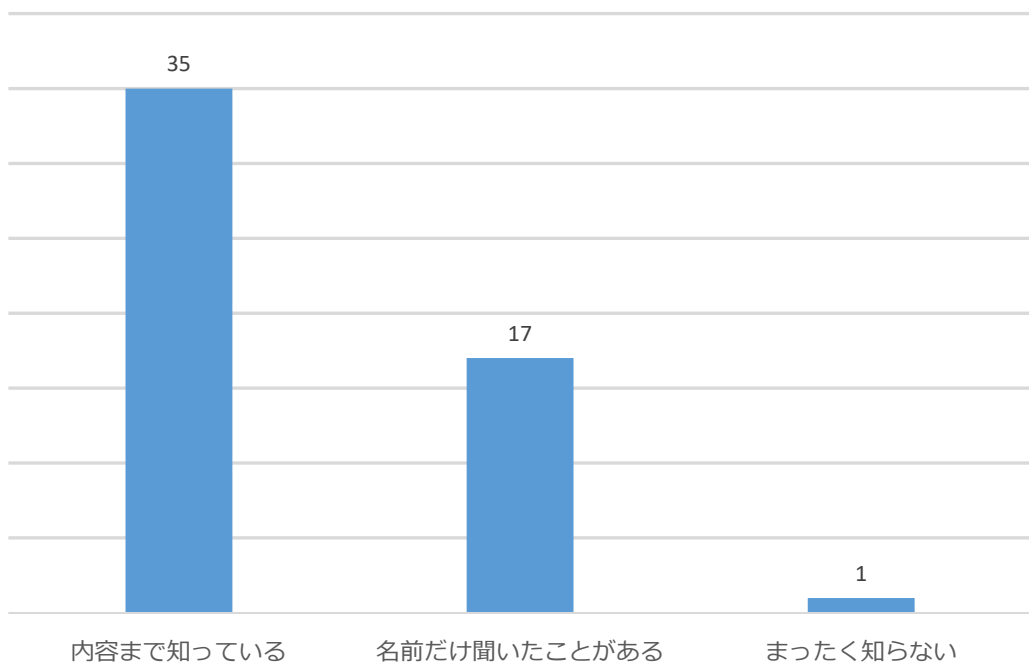
- 自身の子も再度参加させたいため
- こどもがとても楽しんでいたので
- 得難い体験を安心できる場の中でできるから
- こどもが自ら考えて楽しめる場があると助かる
- こどもが自分から参加したいというイベントなので
- 他の子にもチャンスがあれば
- こどもが自分で考え、仲間と一緒によりよい環境、状況を考えていく力を培ってほしい。学校以外の年齢が違う他の子と関わることが重要な良い機会だと思う
- こどもが楽しみにしているから
- 緑区外のお友達も誘いたいと思ったから
- こどもが楽しく参加していて、年齢が上がるとまた違う体験ができると思うから
- また遊びに行けたら楽しいと思う
- こどもが来年は実行委員として参加したがっており親としても良い体験になると思うから
- 弟も実行委員をしたいと言っているから
- こういう企画がこどもたちの力を伸ばすから
- こどもたちが楽しそうだったから
- 来年になったら興味のあるものも変わってくると思うから
- このような取り組みをしているところをあまり見たことがないので、社会の仕組みを理解できるという点でまた実施してほしい
- 学校以外で異年齢の仲間と交流できる点
- まちづくりの意識につながるから
- まちの仕組み、仕事に必要なことを遊びながら学べるため
- 参加回数が多くなるとより楽しくなりそうだから
- 今回初めてだったがさらに色々学べると思うため
- こどもの創造力、協調性、行動力が育まれるから
- こどもたちに学校を超えた体験をいろいろしてほしいから
- こどもたちが楽しそうに過ごしているのを見たため
- とてもいい取り組みだから
- 年齢により消費側だけでなく運営にも興味が出ると思うから
- 仕事体験はなかなかできないため
- こどもも楽しんでいたので
- 社会勉強になるため
- 参加だけではなく、運営する方にも子どもが関わってみたいと言っていたため
- こどもが気に入っている
- とても良い企画だと思うから
- こどもたちが生き生きしていた
- 初めて参加したのでまた参加したい

11 アンケート集計

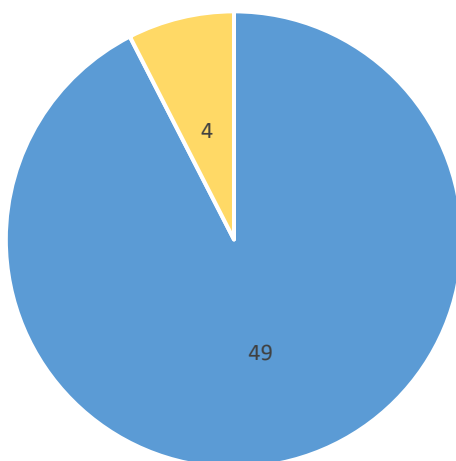
■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

7. あなたはSDGs（持続可能な開発目標）についてどのぐらい知っていますか。

- 66.0% 「内容まで知っている」
- 32.1% 「名前だけ聞いたことがある」
- 1.9% 「まったく知らない」



8. SDGsを勉強・体験できるイベント（子ども向け）を区役所が実施した場合、お子さんを参加させたいですか。その理由を教えてください。



92.4% 「はい」
7.6% 「いいえ」

■ はい ■ いいえ

11 アンケート集計

■ 1日目おとな(28人) 2日目おとな(25人) 合算集計

8. SDGsを勉強・体験できるイベント（子ども向け）を区役所が実施した場合、お子さんを参加させたいですか。その理由を教えてください。（自由回答）

- こどもも興味を持っているため
- こども向けのものでわかりやすいものがあればと思うから
- 今後必要だと思うため
- 知るきっかけがあると良いから
- 先の将来まで安心して生活できる意識を持ってほしいから
- 学校でもいろいろしているから
- こどものうちにいろいろ体験させたいから。
- 日常生活に落とし込むためには知識だけでなく体験が必要だと思うから
- 大切なことなので理解を深めてほしい
- これからを生きるこどもたちは特に知っておくべきだと思うから
- 小さい頃から楽しみながら環境のことを学び、将来に活かしてほしい
- 今後の勉強のために
- 学校でも教わっているので、体験することで勉強になる
- 体験することは大事だから
- 家から近いと参加しやすいため
- 本人が好きだから
- 大人がいない事で、こども達が自分で考えるようになるので良いと思う
- 具体的に経験した方が分かりやすそうだから
- 世界の問題、課題、地球や環境について意識が高くもってほしいから
- 将来のためになるから
- 大人も子どもも地球のことを考える必要があるから
- 人とのコミュニケーション、普段経験できない事をさせたいため
- 今後、必要な視点になると思うから
- 色々なことを体験させてあげたいから
- 子ども自体もSDGsに興味をもっていたため
- 遊んだりしながら学べるのがよい
- 子どもには色々なことに関心を持ち視野を広げてほしいから
- 親が教えるより色々な体験ができると思うから

■ 2日間のおとなアンケートを通しての考察

当アンケートはミニミニミドリの大人数ツアーに参加した大人53名に答えてもらった。そのため、ミニミニミドリ市民の保護者が大半を占めるとされる。

● 項目3「ミニミニミドリに参加したいと思ったきっかけを教えてください。」では「子どもが来たいと言ったから」がおおよそ半数を占め、子どもたちの意思に動かされた大人が多いことがわかる。それに続いて「子どもに良い影響があると思ったから」「子どもが喜ぶと思ったから」と答えた大人は3割弱であった。

● 項目4「ミニミニミドリについて、よかった点を教えてください。」では、ミニミニミドリ市民の主体性や子どもの力でまちが回っていることに対する驚きや賞賛が多く見られる。働いてミドルを得ることや納税の義務、選挙などのまちの仕組みは社会学習、ワークショップの多さはものづくり体験にとっても良いと評価されている。また、親から離れて一人で活動することによって子どもの自立性を再発見した人や、多学年との交流を好意的に捉えている人も見受けられる。

● 項目5「ミニミニミドリについて、改善点があれば教えてください。」では、大人ツアーに関する点が多く寄せられた。1日目はガイドの話が聞こえなかったことも起こったようだが2日目にそういった声は寄せられなかった。ツアー内で子どもを自由に見学する時間があつたらという大人もいるが、子どもたちは大人がいないことを楽しんでいることがアンケートからもわかっているため、実現は難しいと思われる。子どもガイドについては検討する価値がある。1日目は、初日であるためにバタバタしていたのか、何をするのか分からないという趣旨の意見が複数寄せられたが、2日目にそういった声はなく、まちが1日で成長していることを表しているように感じる。

● 項目6「ミニミニミドリを来年も実施してほしいと思いますか？」には全ての人々が「実施してほしい」と答えた。理由としては「子どもたちが楽しそうだったから」という答えが最も多かった。その次に子どもに社会的体験の機会を与えることや、主体性や実行力を育む場所として良いと答える大人が多かった。子どもが実行委員として参加することや、長い期間に渡って参加することを考えていることを考えている大人もおり、非常に好意的にこのイベントを受け止めてくれていることがわかる。

● 項目7「あなたはSDGs（持続可能な目標）についてどのくらい知っていますか。」では7割弱の大人が「内容まで知っている」と答え「名前だけ聞いたことがある」は3割強であった。

● 項目8「SDGsを勉強・体験できるイベント（子ども向け）を区役所が実施した場合、お子さんを参加させたいですか。その理由を教えてください。」には9割強が「はい」と答えた。「参加させたい」と答えた理由からは、子どもがSDGsについて学ぶことは将来に役立つという意見が最も多かった。また、体験したり遊びながらSDGsを学ぶのが良いという希望が多く見られた。

12 ミニミニドリ子ども実行委員 報告会

■こども実行委員会 報告会

日時：1月21日（土）10時から11時半

- 参加者 ○子ども実行委員：31名 ○NPO法人ミニシティプラス：3名
○一般社団法人フラットガーデン：1名 ○東洋英和女学院大学：3名
○緑区役所区政推進課：3名

ミニミニドリ新区長当選者と副区長当選者、区長立候補者が、緑区長と副区長を訪問し、ミニミニドリ新区長当選者と副区長当選者が「当選証書」を授与された。



イベントの報告



区長、副区長と名刺交換



緑区長から、当選証書を受け取る石原さん



区長、副区長と記念撮影

子ども実行委員に、振り返りをしてもらい、100点満点で何点？と自己評価してもらった。



最高得点100点が5名、最低点数は35点（1名）と、幅はあったが、平均点は約90点と自己評価は高かった。

多かった発言

- ・アルバイトを回すのが難しかったが、たくさん働きに来てくれて嬉しかった。
- ・たくさん稼ぐことができたけど、忙しく遊ぶ時間がなかった。
- ・アルバイトがいっぱいきて驚いたけど、品物がいっぱい売れてうれしかった。
- ・アルバイトに仕事を説明することがとても難しかった。などの声があった。